

# EX (絶滅)

食肉目 イタチ科

## ニホンカワウソ (北海道亜種)

*Lutra lutra whiteleyi* Gray, 1867

英名: Hokkaido river otter

カテゴリー判定基準: ③

旧レッドリストカテゴリー		
1991	1998	2007
—	CR	CR

日本固有亜種

ユーラシアカワウソ (*Lutra lutra*) の北海道亜種とされるが、分類学的位置づけは明確でない。1950年代、知床での捕獲標本が北海道での最後の記録である。

The Hokkaido river otter (*Lutra lutra whiteleyi*) was common in the past, but disappeared as a result of overhunting and habitat destruction. The last individual was collected at the Shari river basin, Shiretoko, eastern Hokkaido during the 1950's.

### 基礎情報

■**形態** この亜種の特徴として、頭骨の後眼窩突起が比較的小さく、眼窩の後縁が不明瞭であること、吻が短いこと、前鼻腔が斜めで、その両側の前顎骨が狭く、その後端は鼻骨の中央に達する、鼻骨は上顎骨の上後端よりも後方に達する、下眼窩孔が大きい、上の列肉歯の内葉は大きく外縁の約2/3を占めることなどが挙げられている。しかし、これらは若い個体の特徴であり、雌雄差、齢変異、地理的変異等に関する詳しい調査に基づく分類の再検討が必要であるが、現在では標本が少なくそれは不可能である。

■**分布域** 北海道に広く分布していたらしい。昭和初期までは石狩地域でも見られたようであるが、昭和20年代には、すでに生息情報はほとんどなくなっていた。1950年代に知床北側の斜里川付近で捕獲された毛皮標本が知床博物館に保存されており、これ以降の記録はない。1955年が最後の捕獲例（斜里町斜里川水系）で、1950年代に絶滅したと考えられる。現在では、カワウソのような大型魚食性種が個体群として生息できるような、魚類の現存量が豊富で生息環境の整った河川は北海道にはほとんどない。

■**生息環境** 河川（中、下流）周辺や湖沼（大、中）周辺に生息していたらしいが、北海道個体

群に関する詳しい生態研究はない。

■**生活史** 本亜種の生態に関する情報はない。

### 絶滅に至った経緯とその要因

河川開発（13）、河川周辺開発、狩猟過多（41）等による消滅。

### 特記事項

1928年（昭和3年）に狩猟対象から除かれ、捕獲禁止となった。その後、1964年に国の天然記念物、翌65年に特別天然記念物に指定された。北海道産のカワウソに *whiteleyi* という名称（現在では亜種名）が付けられているが、大陸のものおよび本州以南のものとの関係について十分な標本に基づく検討は行われていないため、それらとの正確な関係は不明である。

### 参考文献

安藤元一, 2008. ニホンカワウソ. 東京大学出版会, 233pp.  
今泉吉典, 1975. *Lutronektes whiteleyi* Grayの分類学的考察. 哺乳学雑誌, 6: 127-136.

執筆者: 阿部永 (元北海道大学)・石井信夫 (東京女子大学)